

2019年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2019年5月23日

会社名 株式会社 但馬銀行
 コード番号 _____ URL <http://www.taiimabank.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役頭取 (氏名) 倉橋 基
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 森脇 正司
 定時株主総会開催予定日 2019年6月27日 配当支払開始予定日 2019年6月28日
 有価証券報告書提出予定日 2019年6月28日 特定取引勘定設置の有無 無
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 非上場

TEL 0796-24-2111

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 2019年3月期の連結業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	16,300	1.0	1,895	11.3	1,227	15.3
2018年3月期	16,136	△1.5	1,701	△5.8	1,064	△7.2

(注) 包括利益 2019年3月期 452百万円 (△73.3%) 2018年3月期 1,700百万円 (28.7%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	経常収益経常利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2019年3月期	15.36	—	2.7	0.1	11.6
2018年3月期	13.32	—	2.4	0.1	10.5

(参考) 持分法投資損益 2019年3月期 — 百万円 2018年3月期 — 百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	1,148,049	44,681	3.8	555.65
2018年3月期	1,092,813	44,629	4.0	555.48

(参考) 自己資本 2019年3月期 44,383 百万円 2018年3月期 44,369 百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2019年3月期	31,445	11,186	△400	145,935
2018年3月期	19,263	10,273	△400	103,703

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2018年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00	399	37.5	0.9
2019年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00	399	32.5	0.8
2020年3月期(予想)	—	2.50	—	2.50	5.00		45.3	

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	770	△25.5	470	△23.5	5.88
通期	1,330	△29.8	880	△28.3	11.01

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
 ② 期末自己株式数
 ③ 期中平均株式数

2019年3月期	79,875,000 株	2018年3月期	79,875,000 株
2019年3月期	— 株	2018年3月期	— 株
2019年3月期	79,873,909 株	2018年3月期	79,872,823 株

(参考)個別業績の概要

1. 2019年3月期の個別業績(2018年4月1日～2019年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期	14,034	△1.5	1,770	11.3	1,185	15.2
2018年3月期	14,257	△3.3	1,590	△6.7	1,028	△7.5

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期	14.84	—
2018年3月期	12.87	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期	1,148,058	43,906	3.8	549.68
2018年3月期	1,092,932	43,936	4.0	550.06

(参考) 自己資本 2019年3月期 43,906 百万円 2018年3月期 43,936 百万円

(注) 「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 2020年3月期の個別業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	710	△27.8	450	△24.7	5.63
通期	1,210	△31.6	850	△28.2	10.64

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	2
3. 連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 連結貸借対照表	3
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	4
(3) 連結株主資本等変動計算書	6
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(セグメント情報)	9
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10
4. 個別財務諸表	11
(1) 貸借対照表	11
(2) 損益計算書	13
(3) 株主資本等変動計算書	14

※ 2018年度決算説明資料

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

(当期の経営成績)

当期におけるわが国経済は、緩やかに拡大を続けました。輸出や生産は、増加基調で推移したものの、海外経済の減速の影響を受け、足もと弱めの動きとなりました。設備投資は、企業収益が高水準を維持するもとで、増加傾向となりました。個人消費は、雇用・所得環境の改善を背景に、緩やかに増加しました。公共投資は、高めの水準を維持しつつ、横這い圏内で推移しました。

金融面をみますと、日本銀行は、強力な金融緩和継続のための枠組みを強化するため、昨年7月に、先行きの長短金利に関する「フォワードガイダンス」の導入と、「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」の持続性を強化する弾力的な金融市場調節の運営という措置を決定しました。

このような環境のもと、短期金利はマイナス領域で推移しました。長期国債の流通利回りは、海外金利の上昇を受けて0.16%まで上昇したものの、海外経済の下振れリスクから低下し、再びマイナス領域となりました。日経平均株価は、好調な企業業績を背景に、2万4千円を超える水準まで上昇したものの、その後値下がりし2万1千円台で越期しました。

次に県内経済をみますと、緩やかに拡大しました。輸出や生産は、増加基調となりました。設備投資は、高水準で推移しました。個人消費は、緩やかな所得の増加を背景に持ち直しました。公共投資は下げ止まりました。地場産業においては、豊岡靴やケミカルシューズの生産はやや弱含みとなりました。城崎温泉など但馬地域の観光地では、外国人観光客は引き続き多いものの、豪雨などの影響による夏場の落ち込みもあり、例年並みの入込み客数となりました。

以上のような金融経済環境のなか、当行グループは役員員一致協力して地域に密着した営業活動と経営の効率化に努めました結果、当連結会計年度の損益は、経常収益が前連結会計年度比1億64百万円増加して163億円となり、経常費用が前連結会計年度比29百万円減少して144億5百万円となりましたことから、経常利益は前連結会計年度比1億93百万円増加して18億95百万円となりました。また、親会社株主に帰属する当期純利益は前連結会計年度比1億63百万円増加して12億27百万円となりました。

(2020年3月期の見通し)

2020年3月期につきましては、厳しい収益環境が続くことが予想されますが、当行グループは、引き続き地域に密着した営業活動を展開するとともに、経営の効率化と収益力の強化を図ることにより、連結ベースの経常利益13億30百万円、親会社株主に帰属する当期純利益8億80百万円を見込んでおります。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産・負債の状況)

預金は、安定した取引基盤の拡充と預金の増強に積極的に取り組みました結果、前連結会計年度末比545億1百万円増加して1兆36億2百万円となりました。

貸出金は、地域の事業者向け貸出や住宅ローンに積極的に取り組みました結果、前連結会計年度末比252億1百万円増加して8,096億49百万円となりました。

有価証券は、資産の流動性の確保と資金の安全性を重視し、国債・地方債を中心に将来の市場変動に配慮した運用に努めました結果、前連結会計年度末比138億48百万円減少して1,548億37百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末比422億31百万円増加して1,459億35百万円となりました。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度は、預金等が増加したことにより314億45百万円の収入（前連結会計年度は192億63百万円の収入）となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度は、有価証券の売却・償還による収入が取得による支出を上回ったことにより111億86百万円の収入（前連結会計年度は102億73百万円の収入）となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度は、前連結会計年度と同様に配当金の支払等により4億円の支出となりました。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当行グループの業務は日本国内に限定されており、当面は日本基準を採用することとしております。

なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、検討していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当連結会計年度 (2019年3月31日)
資産の部		
現金預け金	105,744	148,508
コールローン及び買入手形	853	727
買入金銭債権	951	979
商品有価証券	68	40
有価証券	168,685	154,837
貸出金	784,448	809,649
外国為替	998	1,045
リース債権及びリース投資資産	4,909	5,774
その他資産	12,815	12,665
有形固定資産	14,820	15,369
建物	4,221	4,380
土地	9,552	9,955
リース資産	10	11
建設仮勘定	74	-
その他の有形固定資産	962	1,021
無形固定資産	528	411
ソフトウェア	528	411
リース資産	0	-
その他の無形固定資産	0	0
繰延税金資産	14	17
支払承諾見返	531	562
貸倒引当金	△ 2,558	△ 2,540
資産の部合計	1,092,813	1,148,049
負債の部		
預金	949,101	1,003,602
借入金	90,656	92,430
外国為替	41	25
その他負債	3,392	2,740
役員賞与引当金	4	4
退職給付に係る負債	2,177	2,048
役員退職慰労引当金	273	303
睡眠預金払戻損失引当金	99	106
偶発損失引当金	58	56
繰延税金負債	1,119	759
再評価に係る繰延税金負債	728	727
支払承諾	531	562
負債の部合計	1,048,183	1,103,367
純資産の部		
資本金	5,481	5,481
資本剰余金	1,487	1,487
利益剰余金	30,106	30,936
株主資本合計	37,075	37,906
その他有価証券評価差額金	6,232	5,415
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	1,135	1,133
退職給付に係る調整累計額	△ 74	△ 72
その他の包括利益累計額合計	7,293	6,476
非支配株主持分	260	298
純資産の部合計	44,629	44,681
負債及び純資産の部合計	1,092,813	1,148,049

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
 連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
経常収益	16,136	16,300
資金運用収益	10,618	10,506
貸出金利息	9,367	9,337
有価証券利息配当金	1,205	1,112
コールローン利息及び買入手形利息	12	19
預け金利息	26	30
その他の受入利息	6	6
役務取引等収益	2,985	2,919
その他業務収益	2,199	2,482
その他経常収益	333	392
償却債権取立益	61	30
その他の経常収益	271	362
経常費用	14,434	14,405
資金調達費用	465	423
預金利息	461	418
債券貸借取引支払利息	0	1
借入金利息	0	0
その他の支払利息	3	3
役務取引等費用	1,734	1,769
その他業務費用	1,725	2,097
営業経費	10,225	9,852
その他経常費用	283	261
貸倒引当金繰入額	200	168
その他の経常費用	83	93
経常利益	1,701	1,895
特別損失	82	155
固定資産処分損	45	91
減損損失	12	32
その他の特別損失	24	31
税金等調整前当期純利益	1,619	1,739
法人税、住民税及び事業税	493	485
法人税等調整額	25	△ 13
法人税等合計	518	472
当期純利益	1,100	1,267
非支配株主に帰属する当期純利益	36	39
親会社株主に帰属する当期純利益	1,064	1,227

連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
当期純利益	1,100	1,267
その他の包括利益	599	△ 814
その他有価証券評価差額金	587	△ 816
繰延ヘッジ損益	△ 0	0
退職給付に係る調整額	12	2
包括利益	1,700	452
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,663	413
非支配株主に係る包括利益	36	39

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,481	1,487	29,441	—	36,411
当期変動額					
剰余金の配当			△399		△399
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,064		1,064
自己株式の取得				△2	△2
自己株式の処分		△0		2	2
土地再評価差額金 の取崩					—
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	△0	664	—	664
当期末残高	5,481	1,487	30,106	—	37,075

	その他の包括利益累計額					非支配株主 持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	退職給付に 係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	5,644	0	1,135	△86	6,693	224	43,329
当期変動額							
剰余金の配当							△399
親会社株主に帰属する 当期純利益							1,064
自己株式の取得							△2
自己株式の処分							2
土地再評価差額金 の取崩							—
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	587	△0	—	12	599	35	635
当期変動額合計	587	△0	—	12	599	35	1,300
当期末残高	6,232	0	1,135	△74	7,293	260	44,629

当連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,481	1,487	30,106	—	37,075
当期変動額					
剰余金の配当			△399		△399
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,227		1,227
自己株式の取得				△1	△1
自己株式の処分		△0		1	1
土地再評価差額金 の取崩			2		2
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）					
当期変動額合計	—	△0	830	—	830
当期末残高	5,481	1,487	30,936	—	37,906

	その他の包括利益累計額					非支配株主 持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	土地再評価 差額金	退職給付に 係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	6,232	0	1,135	△74	7,293	260	44,629
当期変動額							
剰余金の配当							△399
親会社株主に帰属する 当期純利益							1,227
自己株式の取得							△1
自己株式の処分							1
土地再評価差額金 の取崩							2
株主資本以外の項目の 当期変動額（純額）	△816	0	△2	2	△816	38	△778
当期変動額合計	△816	0	△2	2	△816	38	52
当期末残高	5,415	0	1,133	△72	6,476	298	44,681

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,619	1,739
減価償却費	748	766
減損損失	12	32
貸倒引当金の増減(△)	171	△ 18
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	0	0
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△ 119	△ 126
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△ 6	30
睡眠預金払戻損失引当金の増減(△)	△ 13	7
偶発損失引当金の増減(△)	△ 21	△ 2
資金運用収益	△ 10,618	△ 10,506
資金調達費用	465	423
有価証券関係損益(△)	△ 288	△ 261
為替差損益(△は益)	1	△ 1
固定資産処分損益(△は益)	45	91
貸出金の純増(△)減	△ 31,615	△ 25,201
預金の純増減(△)	35,726	54,501
借入金(劣後特約付借入金を除く)の純増減(△)	23,977	1,774
預け金(日銀預け金を除く)の純増(△)減	△ 321	△ 532
コールローン等の純増(△)減	△ 68	97
外国為替(資産)の純増(△)減	△ 375	△ 46
外国為替(負債)の純増減(△)	31	△ 15
リース債権及びリース投資資産の純増(△)減	△ 462	△ 864
資金運用による収入	11,058	10,997
資金調達による支出	△ 476	△ 420
その他	△ 9,893	△ 452
小計	19,576	32,013
法人税等の支払額	△ 312	△ 567
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,263	31,445
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△ 14,348	△ 9,257
有価証券の売却による収入	5,095	3,183
有価証券の償還による収入	20,329	18,574
有形固定資産の取得による支出	△ 705	△ 1,245
有形固定資産の売却による収入	0	4
無形固定資産の取得による支出	△ 96	△ 73
投資活動によるキャッシュ・フロー	10,273	11,186
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△ 2	△ 1
自己株式の売却による収入	2	1
配当金の支払額	△ 399	△ 399
非支配株主への配当金の支払額	△ 1	△ 1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 400	△ 400
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 1	1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	29,135	42,231
現金及び現金同等物の期首残高	74,567	103,703
現金及び現金同等物の期末残高	103,703	145,935

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1. 報告セグメントの概要

当行グループの報告セグメントは、当行グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当行グループは、銀行業務を中心にリース業務などの金融サービスに係る事業を行っております。

したがって、当行グループは銀行業務を基礎とした金融サービス別のセグメントから構成されており、「銀行業」、「リース業」の2つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの経常収益、利益、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理方法は、連結財務諸表の作成方法と同一であります。

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部経常収益は、一般的な取引と同様の条件で行っております。

3. 報告セグメントごとの経常収益、利益、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

当連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	連結財務諸表 計上額
	銀行業	リース業	計				
経常収益							
外部顧客に対する経常収益	13,934	2,333	16,267	32	16,300	—	16,300
セグメント間の内部経常収益	100	367	468	218	686	△ 686	—
計	14,034	2,701	16,736	251	16,987	△ 686	16,300
セグメント利益	1,770	120	1,890	5	1,896	△ 1	1,895
セグメント資産	1,148,058	7,884	1,155,942	225	1,156,168	△ 8,118	1,148,049
セグメント負債	1,104,152	7,287	1,111,439	52	1,111,492	△ 8,124	1,103,367
その他の項目							
減価償却費	760	7	767	—	767	△ 0	766
資金運用収益	10,560	0	10,560	0	10,560	△ 53	10,506
資金調達費用	453	52	505	—	505	△ 81	423
特別損失	155	—	155	—	155	△ 0	155
(固定資産処分損)	91	—	91	—	91	△ 0	91
税金費用	430	40	471	1	472	△ 0	472
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	1,383	9	1,392	—	1,392	—	1,392

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と連結損益計算書の経常収益計上額の差異について記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、事務代行業、不動産賃貸業等であります。

3. 「セグメント利益」「セグメント資産」「セグメント負債」「減価償却費」「資金運用収益」「資金調達費用」「特別損失」「税金費用」「有形固定資産及び無形固定資産の増加額」の調整額は、セグメント間取引消去であります。

4. セグメント利益は、連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

	当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり純資産額	555円65銭
1株当たり当期純利益	15円36銭

(注) 1. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、次のとおりであります。

	当連結会計年度 (2019年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	44,681
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	298
(うち非支配株主持分)	(298)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	44,383
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(千株)	79,875

(注) 2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、次のとおりであります。

		当連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益	百万円	1,227
普通株主に帰属しない金額	百万円	-
普通株式に係る親会社株主に 帰属する当期純利益	百万円	1,227
普通株式の期中平均株式数	千株	79,873

なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないので記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
資産の部		
現金預け金	105,744	148,508
現金	15,102	16,492
預け金	90,641	132,016
コールローン	853	727
買入金銭債権	951	979
商品有価証券	68	40
商品地方債	68	40
有価証券	168,760	154,912
国債	50,316	45,170
地方債	80,052	72,638
社債	26,042	26,192
株式	11,710	10,305
その他の証券	639	604
貸出金	790,311	816,230
割引手形	3,064	3,261
手形貸付	16,747	18,181
証書貸付	735,409	758,935
当座貸越	35,089	35,852
外国為替	998	1,045
外国他店預け	879	974
買入外国為替	3	3
取立外国為替	115	66
その他資産	11,987	11,865
前払費用	2	2
未収収益	1,074	1,055
金融派生商品	30	8
その他の資産	10,880	10,799
有形固定資産	14,710	15,277
建物	4,233	4,391
土地	9,377	9,780
リース資産	708	798
建設仮勘定	74	-
その他の有形固定資産	317	306
無形固定資産	556	430
ソフトウェア	295	248
リース資産	261	182
その他の無形固定資産	0	0
支払承諾見返	531	562
貸倒引当金	△ 2,542	△ 2,522
資産の部合計	1,092,932	1,148,058

(単位:百万円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当事業年度 (2019年3月31日)
負債の部		
預金	949,561	1,004,131
当座預金	29,099	31,937
普通預金	396,452	413,084
貯蓄預金	10,033	10,234
通知預金	2,375	5,220
定期預金	502,646	534,864
定期積金	3,473	3,446
その他の預金	5,480	5,343
借入金	90,656	92,180
借入金	90,656	92,180
外国為替	41	25
売渡外国為替	-	2
未払外国為替	41	23
その他負債	3,838	3,339
未払法人税等	324	244
未払費用	364	368
前受収益	140	159
従業員預り金	448	430
給付補填備金	0	0
金融派生商品	25	4
リース債務	1,055	1,083
その他の負債	1,479	1,047
役員賞与引当金	4	4
退職給付引当金	2,054	1,927
役員退職慰労引当金	273	303
睡眠預金払戻損失引当金	99	106
偶発損失引当金	58	56
繰延税金負債	1,147	786
再評価に係る繰延税金負債	728	727
支払承諾	531	562
負債の部合計	1,048,995	1,104,152
純資産の部		
資本金	5,481	5,481
資本剰余金	1,487	1,487
資本準備金	1,487	1,487
その他資本剰余金	0	0
利益剰余金	29,599	30,387
利益準備金	3,993	3,993
その他利益剰余金	25,605	26,394
別途積立金	24,537	25,137
繰越利益剰余金	1,068	1,257
株主資本合計	36,568	37,356
その他有価証券評価差額金	6,232	5,415
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	1,135	1,133
評価・換算差額等合計	7,368	6,549
純資産の部合計	43,936	43,906
負債及び純資産の部合計	1,092,932	1,148,058

(2) 損益計算書

(単位:百万円)

	前事業年度 (自 2017年4月1日 至 2018年3月31日)	当事業年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)
経常収益	14,257	14,034
資金運用収益	10,668	10,560
貸出金利息	9,416	9,390
有価証券利息配当金	1,206	1,113
コールローン利息	12	19
預け金利息	26	30
その他の受入利息	6	6
役務取引等収益	2,986	2,932
受入為替手数料	628	623
その他の役務収益	2,358	2,308
その他業務収益	246	117
外国為替売買益	46	44
商品有価証券売買益	-	0
国債等債券売却益	169	72
その他の業務収益	30	0
その他経常収益	355	424
償却債権取立益	54	30
株式等売却益	147	204
その他の経常収益	153	189
経常費用	12,666	12,263
資金調達費用	477	453
預金利息	461	418
債券貸借取引支払利息	0	1
借入金利息	0	0
その他の支払利息	15	33
役務取引等費用	1,734	1,769
支払為替手数料	124	122
その他の役務費用	1,609	1,647
その他業務費用	0	-
商品有価証券売買損	0	-
営業経費	10,176	9,784
その他経常費用	278	256
貸倒引当金繰入額	195	163
貸出金償却	26	22
株式等売却損	16	-
株式等償却	11	15
その他の経常費用	28	55
経常利益	1,590	1,770
特別損失	82	155
固定資産処分損	45	91
減損損失	12	32
その他の特別損失	24	31
税引前当期純利益	1,508	1,615
法人税、住民税及び事業税	448	440
法人税等調整額	30	△ 10
法人税等合計	479	430
当期純利益	1,028	1,185

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度（自 2017年4月1日 至 2018年3月31日）

(単位:百万円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	5,481	1,487	0	1,487	3,993	23,787	1,189	28,970
当期変動額								
剰余金の配当							△399	△399
別途積立金の積立						750	△750	—
当期純利益							1,028	1,028
自己株式の取得								
自己株式の処分			△0	△0				
土地再評価差額金の取崩								
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	△0	△0	—	750	△120	629
当期末残高	5,481	1,487	0	1,487	3,993	24,537	1,068	29,599

	株主資本		評価・換算差額等				純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	—	35,939	5,644	0	1,135	6,780	42,719
当期変動額							
剰余金の配当		△399					△399
別途積立金の積立		—					—
当期純利益		1,028					1,028
自己株式の取得	△2	△2					△2
自己株式の処分	2	2					2
土地再評価差額金の取崩		—					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			587	△0	—	587	587
当期変動額合計	—	629	587	△0	—	587	1,216
当期末残高	—	36,568	6,232	0	1,135	7,368	43,936

当事業年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

（単位：百万円）

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
					別途積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	5,481	1,487	0	1,487	3,993	24,537	1,068	29,599
当期変動額								
剰余金の配当							△399	△399
別途積立金の積立						600	△600	—
当期純利益							1,185	1,185
自己株式の取得								
自己株式の処分			△0	△0				
土地再評価差額金の取崩							2	2
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）								
当期変動額合計	—	—	△0	△0	—	600	188	788
当期末残高	5,481	1,487	0	1,487	3,993	25,137	1,257	30,387

	株主資本		評価・換算差額等				純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計	
当期首残高	—	36,568	6,232	0	1,135	7,368	43,936
当期変動額							
剰余金の配当		△399					△399
別途積立金の積立		—					—
当期純利益		1,185					1,185
自己株式の取得	△1	△1					△1
自己株式の処分	1	1					1
土地再評価差額金の取崩		2					2
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）			△816	0	△2	△818	△818
当期変動額合計	—	788	△816	0	△2	△818	△30
当期末残高	—	37,356	5,415	0	1,133	6,549	43,906